

日本カトリック司教協議会

CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN



〒135-8585 東京都江東区潮見二丁目10番10号 日本カトリック会館内
JAPAN CATHOLIC CENTER,
10-10, SHIOMI 2-CHOME, KOTO-KU, TOKYO 135-8585, JAPAN
Key Tel. 03-5632-4411・Fax. 03-5632-4453

PROT. NO. CBCJL22-52

日本のカトリック教会の皆様

シノドスの今後の歩みについて

シノドスの歩みにご協力いただき、ともに歩んでくださる皆様に感謝いたします。

教皇様は10月16日の一般謁見で、世界代表司教会議(シノドス)第16回通常総会の今後の日程を発表されました。それによると、ローマにおける総会は、2023年と2024年の二つの会期にわたって開催されることになり、その第一会期は、2023年10月4日から29日まで、第二会期は2024年の10月となりました。教皇様は、この複数年にわたる歩みを、当初から強調されているように、司教たちだけのものとせず、全教会が歩みをともしながら祈りと分かち合いのうちに識別を深め、聖霊に導かれて教会のあるべき姿を再認識し、具体化するよう呼びかけています。

各教区からの回答の提出はすでに終わり、また各司教協議会からの回答の提出も終わりました。しかしシノドスの歩みはこれで終了したわけではありません。今後も、最初の準備文書に記された十の設問などを手がかりに、様々な共同体の祈りと分かち合いを通じて、教会の歩むべき道の識別を続けていただければと思います。

なお8月に各司教協議会や個人から聖座のシノドス事務局に提出された回答は、その後専門家の手によってまとめられ、このたび10月27日に大陸別シノドスのための作業文書として発表されました。「あなたの天幕に場所を広く取りなさい(イザヤ54・2)―大陸ステージのための作業文書―」と表題をつけられた文書は、暫定ですが日本語への翻訳が終わりましたので、中央協議会のホームページで公開します。

アジアの大陸別シノドスは、アジア司教協議会連盟(FABC)が主催し、2023年2月23日から27日までタイのバンコクで開催され、アジアの各司教協議会から会長と、ほか司祭・修道者・信徒の中から2名が参加することが決まっています。司教協議会会長以外の日本からの2名の参加者は、現在調整中です。

またFABC中央委員会は、各司教協議会から1月15日までに作業文書への回答を提出することを求めていますので、現在検討を進めています。なお同作業文書には、最後の項目に三つの設問がされています。同文書を読んだあとに、この三つの設問についてそれぞれの場で分かち合いをすることは、道を識別するための大きな手がかりになり得るものですので、どうぞ教会全体でこの作業文書に目を通して、それぞれの場での状況に応じて、小グループでの分かち合いなどを継続していただければ幸いです。なお、大陸別シノドスのために、同作業文書について、個別の回答の受付は予定されていませんが、それぞれの分かち合いの成果を各教区のシノドス担当者を通じて各教区司教に伝えることは、識別のための助けにならうかと思えます。

2025年の聖年に向けて、教会は進むべき道を求め、またあるべき姿を模索しながら、識別の道とともに歩んで参ります。今後も、シノドスの歩みにご注目くださり、全世界の教会と歩みをともし続けてくださるようお願いいたします。

2022年11月15日

日本カトリック司教協議会 会長

東京大司教

菊地 功